

# 中学校B 基礎能力を知り意欲的に運動に取り組む学習カードの工夫

岡本 貴也 ( 柏 )      高橋 邦彦 (葛 南)      安川 輝栄 (葛 北)  
木内 史紀 (香 取)      大木美代子 (東 総)      岩沢 文雄 (山 武)

## 1. はじめに

運動が得意ではない生徒が運動を意欲的に取り組むために、まず基礎技能の習得があげられる。そこで、単元ごとにウォーミングアップの一環として行うスキルアップ課題に継続的に取り組み、単元の始めと最後の変化を見ることで個人記録を知り、運動の得意な生徒も不得意な生徒も取り組みの励みになるような課題を設定した。毎時間、自分の基礎技能の高まりを自分の目で確認し行うことで基礎技能の習得と共にその種目に意欲的に取り組む気持ちが養われると考え、実践した。

## 2. 実 践

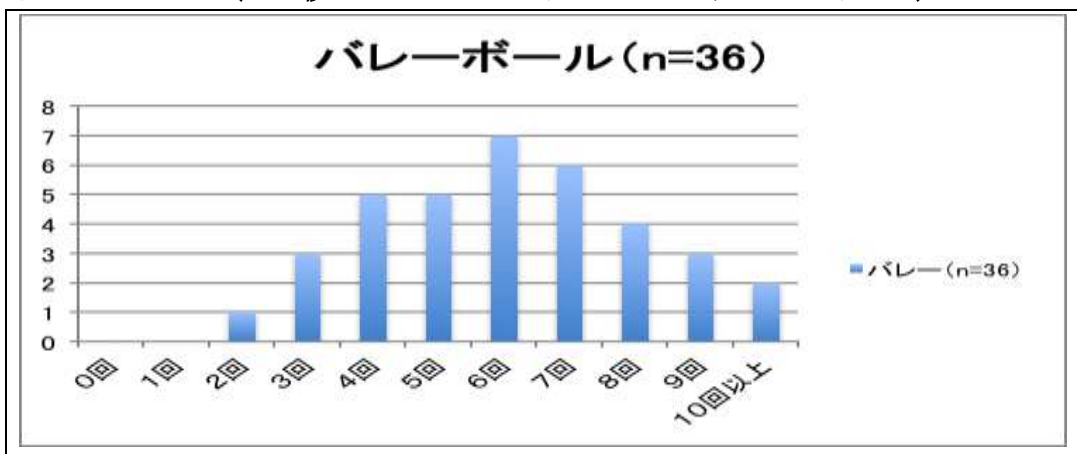
体育の毎時間に各種目の基礎技能によるスキルアップ課題を30秒～1分間で行う。その結果を毎回、学習カードに記入し自分の目標に対する進捗状況を確認しながら取り組ませる。

## 3. 結 果

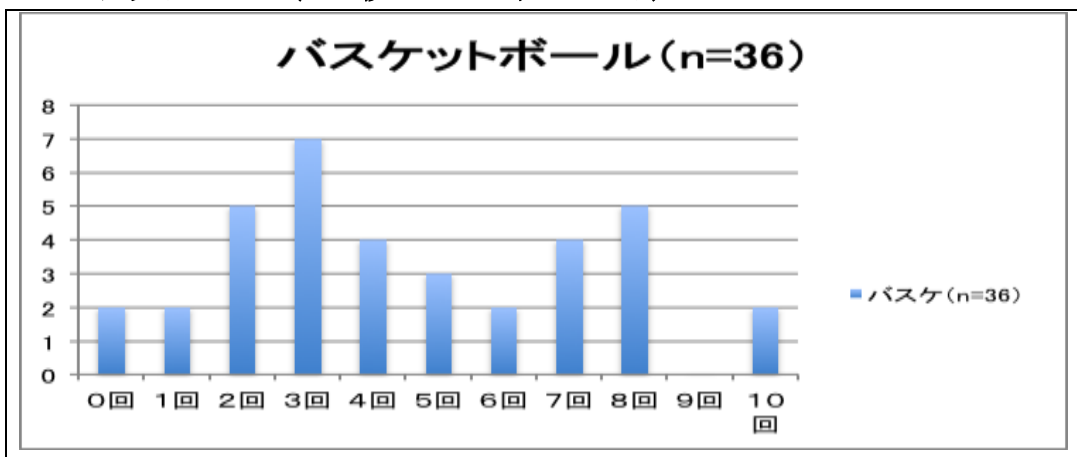
下のグラフは、単元の終わりの各種目におけるスキルアップ課題の回数を表したものである。

(単元の始めにチャレンジした回数からの増加数)

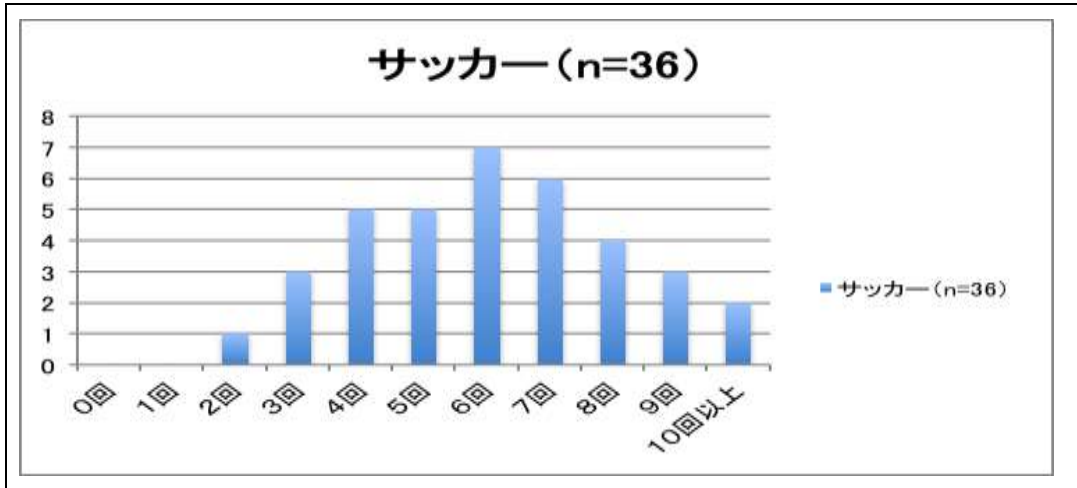
### ○バレーボール (30秒 オーバーハンドパス・アンダーハンドパス)



### ○バスケットボール (30秒 ゴール下シュート)



### ○サッカー（1分 リフティング）



### 3. 成果

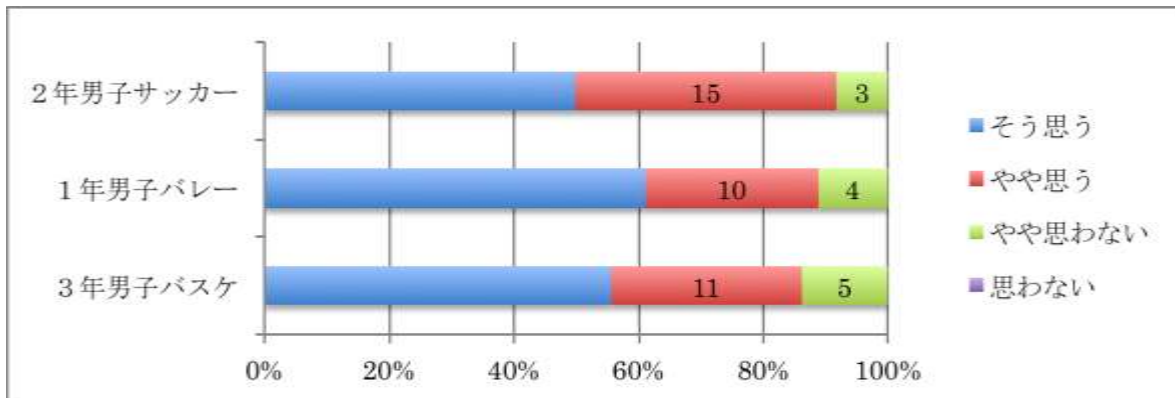
結果から見られるように、大多数の生徒が記録を伸ばすことができ、スキルアップ課題を継続的に行うことが基本技能の定着につながると考えられる。中には10回以上の増やす成果をあげる生徒も見られた。また、技能面だけでなく、意欲の面でも、自己記録を超えたいという気持ちが記録の上昇につながり、意欲的に運動に取り組む気持ちにつながったと考えられる。

### 4. 考察・今後の課題

授業後の「保健体育アンケート」より抜粋

Q1 毎回の授業で反復練習をして、上手になったと思いますか？

1. そう思う    2. やや思う    3. やや思わない    4. 思わない



アンケートの結果より、以下の点が問題点として考えられる。

- ・毎回のステップアップ課題で大きな成果が出せず、意欲に大きな変化が見られない生徒がいた。
- ・基礎技能がアップしたが、ゲームになるとその技能をうまく使うことが出来ず意欲の低下が見られる生徒がいた。

体育は得意・不得意が大きく出てしまう教科である。「苦手だから」や、「周りがうまいから」と言って消極的な態度になってしまう生徒も少なくない。今後も基礎技能の習得に力を入れつつ、その習得した基礎技能をゲームなどで生かすことが出来るような指導方法を考えていくことが必要であると考える。